

回 覧

～イノシシ・ツキノワグマによる農林作物等の被害を防ぐには～

平成18年10月
白石市農作物有害鳥獣対策協議会

白石市内におけるイノシシ・ツキノワグマによる農林作物の被害および目撃情報が、昨年度に比べて約2倍に増加しています。

つきましては、被害を未然に防ぐために、この回覧をご活用下さいますようお願いいたします。

イノシシ・ツキノワグマの生態

イノシシ

イノシシは、行動範囲の広い夜行性の動物です。犬の4～5倍の鋭い嗅覚を持つ円盤状の大きな鼻と、口の外に伸びている鋭い牙が特徴として挙げられます。

イノシシは雑食性で、イモ類、マメ類、昆虫や蛇、ミミズなどを好んで食べるとともに、水稻をはじめとする穀物類、果樹、野菜類のほとんどが被害の対象となっています。



ツキノワグマ

ツキノワグマは、約40平方キロメートルを行動半径とし、朝夕、黎明薄暮時に活動する動物です。冬期間に冬眠を行い、雪解け頃に目覚めます。体長が約110センチメートルから160センチメートルと大きいことから、一見すると行動が鈍いかのようにも思われますが、ヒトよりも速く走ることができます。また、視覚はほとんど無いものの、聴覚、嗅覚は鋭く、ヒトの気配も鼻で察知します。

ツキノワグマは、ブナの実、どんぐり類、木の実、山菜及び昆虫を好んで食べます。

農林作物の中では、特にデントコーン（サイレージを含む）が被害の対象となっています。もっとも、**農林作物被害もさることながら、人的被害の危険性がある**という点が、イノシシによる被害との一番大きな違いと考えられます。



イノシシ・ツキノワグマに遭遇した場合の対処法

イノシシ

イノシシは、性格自体は非常におとなしい動物です。

したがって、イノシシに遭遇した場合は、こちらからは何もせずに放っておきましょう。ほとんどの場合は、イノシシは何もせずに去っていきます。

万が一近づいてきた場合には、慌てずにゆっくりと後ずさりをしましょう。ヒトが急に動いてしまうと、イノシシが驚いてしまい、想定外の事故が発生する可能性があるため注意が必要です。

なお、石や棒などを用いてイノシシを挑発すると、イノシシが逆上し、ヒトに向かってくる恐れがありますので、絶対に避けましょう。

ツキノワグマ

ツキノワグマも、本来は大変臆病で温厚な動物です。

したがって、ヒトとクマとの遭遇を少なくすることを第一に考えるべきであると思われれます。

具体的には、イ)ラジオや鈴などを用いて、音を出しながら行動する、ロ)ツキノワグマのフンや足跡を見つけた場合は、迂回するか引き返す、ハ)ツキノワグマの行動する時間帯である朝夕、黎明薄暮時の外出はできるだけ避け、やむを得ず外出する際には、単独行動をできるだけしないことが肝要です。特に、ツキノワグマによる農林作物の被害があった場所に近寄ることは避けましょう。

万が一ツキノワグマに遭遇した場合は、とにかく落ち着いて行動しましょう。大声をあげたり、石や棒などを投げつけることは、ツキノワグマをいたずらに興奮させるだけなので絶対にやめましょう。そして、ツキノワグマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後退してください。ツキノワグマは、「逃げるものを追う」習性があるといわれていますので、背中を見せて逃げることは絶対にしてはいけません。なお、いわゆる「死んだふり」は俗説で、ツキノワグマに対する効果は全くありません。

自主防除方法

イノシシ

イノシシから農林作物を守るための方法は、イ)視覚的防除、ロ)嗅覚的防除、ハ)聴覚的防除、ニ)物理的防除の4つに分けることができます。具体的には、以下の通りです。

イ)視覚的防除	点滅ライト、赤い布、風船、火を燃やす等
ロ)嗅覚的防除	髪の毛、血粉、クレオソート、犬のフン、廃オイル等
ハ)聴覚的防除	ラジオ、爆音器等
ニ)物理的防除	トタン、ネットフェンス、金網、漁網、テープ、電気柵等

イ)視覚的防除、ロ)嗅覚的防除及びハ)聴覚的防除は、イノシシに慣れが生じることから、その効果は限定的であると考えられます。

したがって、ニ)物理的防除、特に電気柵を設置することが効果的と思われます。

もっとも、ニ)物理的防除は、労力と経費の面で負担が大きいことから、ニ)物理的防除を基本としつつも、イ)視覚的防除、ロ)嗅覚的防除及びハ)聴覚的防除を様々な組み合わせていくことにより、慣れを生じさせにくくする等の次善策を検討していく必要があると思われます。

なお、イノシシが嫌がる作物(忌避作物：タカノツメ・ウコン・ミント・ショウガ等)を植えることも考慮に入れましょう。

ツキノワグマ

ツキノワグマから農林作物を守るためには、上に述べたイノシシに対する防除方法、その中でも特に電気柵の効果が高いとされています。

しかし、一番重要なことは、ツキノワグマにヒトの食物の味を覚えさせないことです。

すなわち、イ)家の周囲に生ゴミなどを無造作に捨てたり、置いたりしない、ロ)収穫の予定のない柿等の果実は撤去する、ハ)墓地のお供え物を必ず持ち帰る、といったことをおこなうことが肝要であると思われます。

有害鳥獣駆除について

上に述べたような防除措置を講じたにもかかわらず農林作物の被害が発生した場合、もしくは、人的被害の危険性が大きい場合には、イノシシについては市長の捕獲許可、ツキノワグマは県知事の捕獲許可が下りたことを前提として、地元猟友会会員の協力の下で、イノシシ・ツキノワグマ等の駆除を実施することができます。

なお、詳細に関しては連絡先までお問い合わせ下さい。

連絡先：白石市産業部農林課林務係(TEL:22-1253 FAX:22-1258)

この回覧は白石市農林課ホームページ(<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/norin/>)でも見ることができます。